

## 2014 年度 社外研修(救命講習)実施報告

一般の方が緊急時に AED を使用できるようになってから今年で 10 年。  
公共施設や学校、デパート、スポーツ施設など広範囲に AED が設置されるようになりました。  
会社では「救命救急活動を行える能力」を社員に備えて頂くため、毎年教育訓練を実施しております。人命救助は当たり前の時代です。突然発生する怪我や災害、家庭や職場で最善の応急手当や救命処置ができる知識と経験を身につけ実行して頂く事が狙いです。

【実施日】5月10日(土) 東京本社と東北営業所

【本社・東京】

9:00~12:00 目黒消防署 4F 防災室

目黒消防署と東京防災救急協会のご協力により普通救命講習(3時間コース)を  
28名で受講 心肺蘇生法/AED操作方法/異物除去/止血法について学ぶ

① 周囲の安全確認



② 呼びかけ



③ 応援要請 119番 AED



④ 心肺蘇生開始 30回



④ 人口呼吸 2回



⑤ 心肺蘇生開始 30回繰り返し





二人ひと組で AED を使用する訓練  
 心肺蘇生→AED→心肺蘇生→人口呼吸  
 →心肺蘇生・・・

★★★★★★★★★ 社員の感想 ★★★★★★★★★★

- 救急車が到着するまでの6～7分間、大変ですが心肺蘇生を継続します。
- 今年の訓練は傷病者が幼児であったり、運動中の方であったり色々と応用があり、より実践的になり学びが大きかったです。
- 妊婦であっても意識や呼吸が無い場合はAEDを使用する事がわかりました。

【東北営業所】

9：00～11：00 東北営業所 応接室 所員全員（新たな社員も参加）

郡山消防署職員のご協力により約2時間受講





#### 【講習内容】

救命の連鎖を覚えよう

①心停止の予防（普段の健康管理）⇒②早期認識と通報（いち早くが基本）⇒

③一次救命処置（心肺蘇生とAED処置）⇒④二次救命処置（病院での処置）

この4つの輪が途切れることなくすばやくつながることで、救命効果が高まる。

上記4つが完結しての救命が重要と認識。

救急時きれいな状態で倒れている方は少ない。そのような場合、呼吸がある時は、回復体位を取らせる。（横向きの状態）

呼吸がない場合は、心臓マッサージのみでもOK続けることが重要。